

## 第3章 アンケート調査結果

### 第1節 アンケート調査の概要

本計画の策定にあたり、子育て家族の生活実態や意向を把握し、サービスの量的、質的なニーズを把握するため「子育て支援に関するアンケート調査」を実施しました。

調査項目は、平成16年2月に実施した調査と比較するため、極力同様の設問とすることとし、子育て支援サービスの変化に伴い不要となった設問、必要となった設問を加除しました。

1. 調査対象者	保育所入所児童	小学校1～3年生
2. 調査対象地域	津南町全域	津南町全域
3. 調査時期	平成21年6月下旬	平成21年7月下旬
4. 調査対象世帯数	237世帯	234世帯
5. 調査回収数	206世帯	218世帯
6. 回収率	86.9%	93.2%
7. 調査内容	設問35項目	設問20項目

子育て家庭を父母の働き方をベースにした「家族類型別」や「地域別」に集計し、分析しました。

### 第2節 アンケート調査の結果(未就学児童)

#### 1 家庭の状況

未就学児童の家族平均人数、核家族率、近居家族(概ね30分以内で行き来できる範囲)の率は前回調査(平成16年2

家族類型	多世代同居	核家族	家族平均人数	核家族率	近居家族がいる率
ひとり親	6世帯	4世帯	3.7人	40.0%	50.0%
フルタイム×フルタイム	48世帯	23世帯	5.5人	32.4%	50.7%
フルタイム×パートタイム	55世帯	27世帯	5.6人	32.9%	45.1%
フル&パート×専業主婦(夫)	16世帯	10世帯	5.3人	38.5%	53.8%
無職×無職	0世帯	1世帯	3.0人	100.0%	100.0%
その他	11世帯	5世帯	5.8人	31.3%	68.8%
合計	136世帯	70世帯	5.5人	34.0%	50.0%

月)と比較し、特徴的なところはあります。子どもとの同別居では前回調査では「母親と別居及び母親がいない」とした世帯が無かったのに対し、今回は別居が1世帯(0.5%)、「父親と別居及び父親がいない」とした世帯が18世帯(6.7%)から10人(4.9%)となっていますが、調査数が少ないことによる偶然変動と考えられます。

#### 2 父母の就労状況

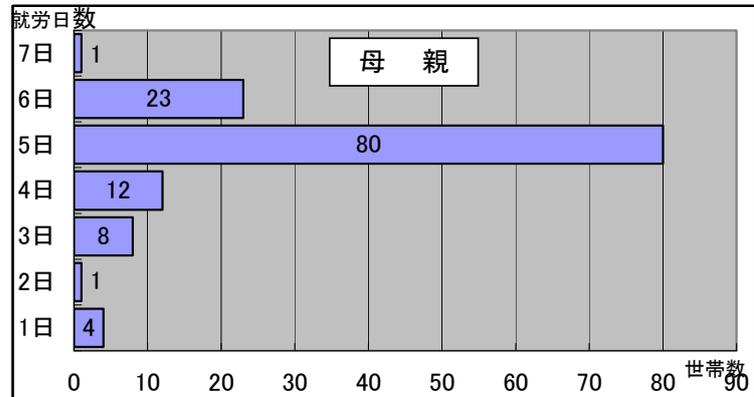
子育て家庭では、共働き世帯が80%を超えています。

就業状況	母親				父親			
	就労中	産休等	専業主婦	休職中	就労中	産休等	専業主婦	休職中
今回調査	162人 79.8%	12人 5.9%	21人 10.4%	8人 3.9%	190人 96.5%	2人 1.0%	0人 0.0%	5人 2.5%
前回調査	229人 85.1%	3人 1.1%	25人 9.3%	12人 4.5%	257人 98.8%	0人 0.0%	0人 0.0%	3人 1.2%

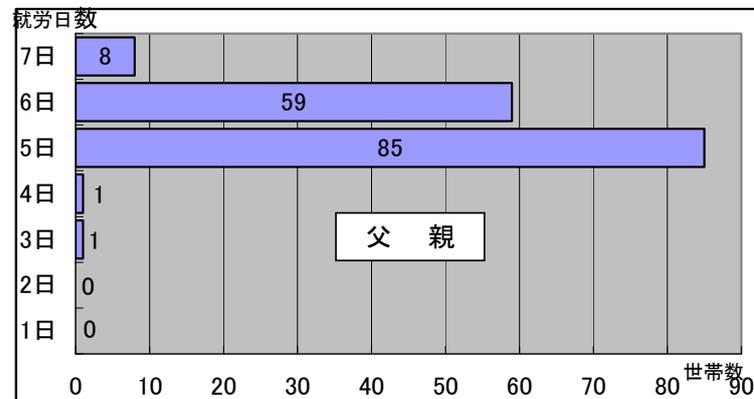
父親がフルタイムで、母親がパートタイムで就労の家庭が最も多く、専業主婦（夫）の家庭は12.6%となっています。

母親		父親	
フルタイム	パート	フルタイム	パート
76人	86人	188人	2人

就労頻度を見てみると、不況の影響から母親の就労日数において週6日就労が減少し、週3日・4日が増加しました。



残業の有無では、父親においては「残業有」とした者は80.1%で前回調査81.4%と大差ありませんでしたが、母親においては「残業有」とした者は35.2%で、前回調査から7.8%減少し、不況は女性の就労に、より影響していることがうかがえます。



残業日数においても、月10日以上残業があるとしたものは母親で38.2%（前回調査41.7%）、父親で69.7%（前回調査74.1%）といずれも減少しています。

出勤時刻				帰宅時刻			
時刻	母親	父親		時刻	母親	父親	
～ 6:59	3人 1.9%	11人 6.1%		～ 11:59	3人 1.9%	0人 0.0%	
7:00 ～ 7:29	4人 2.5%	44人 24.3%		12:00 ～ 14:59	11人 6.9%	0人 0.0%	
7:30 ～ 7:59	35人 21.9%	62人 34.3%		15:00 ～ 15:29	5人 3.1%	0人 0.0%	
8:00 ～ 8:29	49人 30.6%	49人 27.1%		15:30 ～ 15:59	10人 6.3%	0人 0.0%	
8:30 ～ 8:59	30人 18.8%	9人 5.0%		16:00 ～ 16:29	18人 11.3%	1人 0.6%	
9:00 ～ 9:29	30人 18.8%	3人 1.7%		16:30 ～ 16:59	10人 6.3%	0人 0.0%	
9:30 ～ 9:59	4人 2.5%	0人 0.0%		17:00 ～ 17:29	19人 11.9%	7人 3.9%	
10:00 ～	5人 3.1%	3人 1.7%		17:30 ～ 17:59	20人 12.5%	9人 5.0%	
合計	160人 100.0%	181人 100.0%		18:00 ～ 18:29	26人 16.3%	50人 27.8%	
				18:30 ～ 18:59	19人 11.9%	33人 18.3%	
				19:00 ～ 19:29	10人 6.3%	29人 16.1%	
				19:30 ～ 19:59	4人 2.5%	9人 5.0%	
				20:00 ～ 20:59	3人 1.9%	21人 11.7%	
				21:00 ～ 21:59	0人 0.0%	12人 6.7%	
				22:00 ～	2人 1.3%	9人 5.0%	
				合計	160人 100.0%	180人 100.0%	

出勤時刻は、母親が8時前後、父親が7時半前後の時間帯が多くなっています。

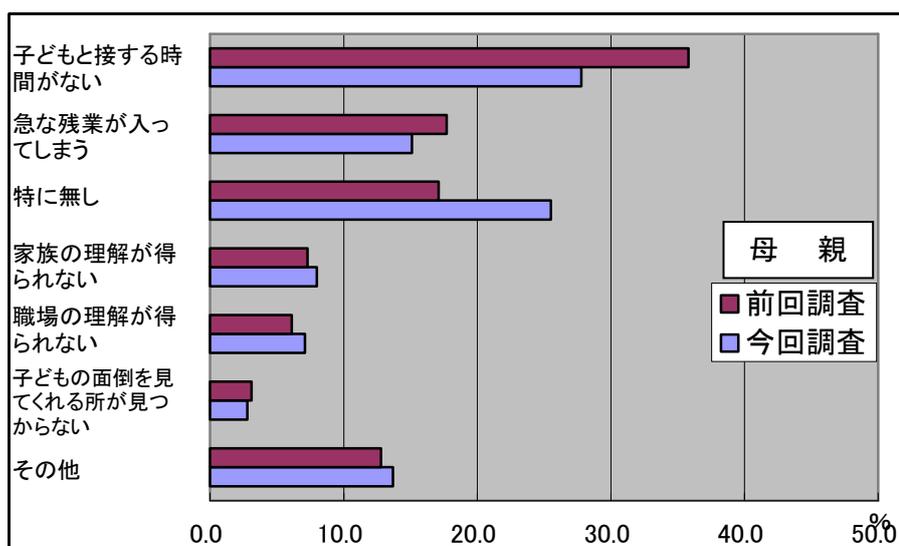
帰宅時刻は母親が16時前後から19時前後、父親が18時前後から20時前後まで時間帯の幅が大きくなっています。

### 3 仕事と子育ての状況

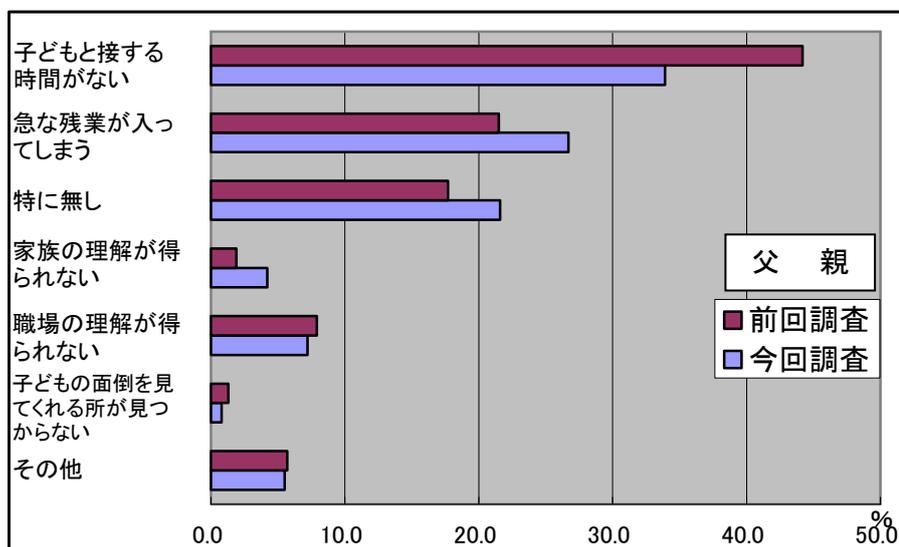
「仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること」の設問では、「子どもと接する時間がない」とした者が父親、母親とも最も多くなっていますが、前回調査と比較すると比率は少な

くなっており、就労日数や残業の減少が影響していると考えられます。

「子どもと接する時間がない」とした者を家族類型別に見ると、「ひとり親家庭」「フルタイム×フルタイム」「フルタイム×パートタイム」「フル&パート×専業主婦（夫）」の順で比率が高くなっています。

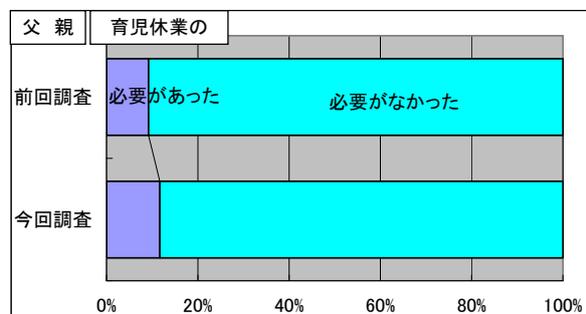
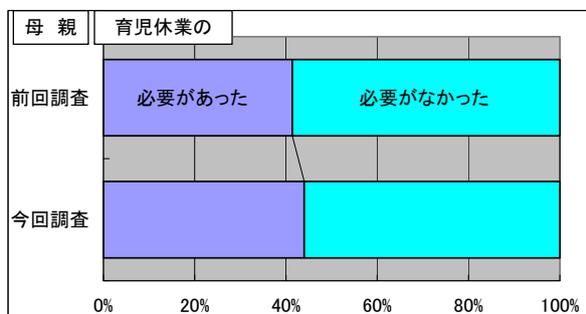


「特になし」とした者が前回調査と比較し、母親、父親とも増加していますが、その家族類型の比率は子どもと接する時間がないとした者と逆の順となっています。



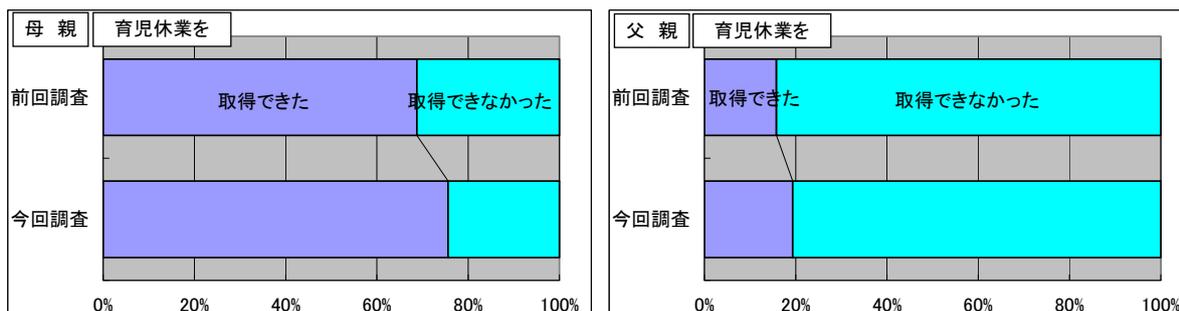
これまで育児休業

(休暇)が必要になったか否かについては、母親の44.0%、父親の11.7%が必要になったとしており、その比率は前回調査から増加しています。



必要がなかったとする者は、母親では親族が見てくれる、父親では母親が育児休業を取得したためであると考えられます。

また、育児休業の必要があった者に「必要なときに取得できたか」の設問では、母親の75.6%、父親の19.4%が取得できたとしています。



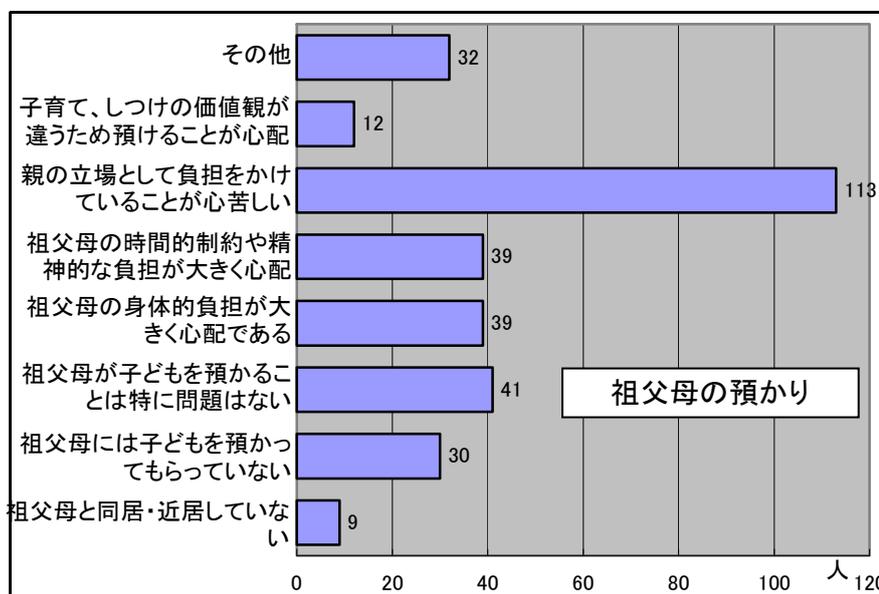
取得できなかった者の「その理由や不満に思ったこと」では、母親は「職場の雰囲気で取得しにくい」とする者が 25.9%で最も多くなっており、前回調査より 8.7%増加しています。

一方、父親は「仕事の都合で取得できなかった」とする者が 29.3%で最も多くなっていますが、前回調査より 7.7%減少しています。

育児休業の環境は、不況の要因も考えられますが、不十分ながらも若干の改善が見られると考えられます。

#### 4 子どもの世話の状況

「住まいの近く（概ね 30 分以内）に子どもの世話を頼める親族や知人がいるか」の設問では 77.5%が「いる」とし、近くではないがいるとした者を合算すると 98.0%がいる状況となっています。前回調査の「特に頼める人がいない」とした者が 10.3%から 2.0%に減少しています。また、祖父母の預かり状況では、祖父母の負担への気づかいが感じられる一方で、同居していても「子どもを預かってもらっていない」「価値観が違うため、預けることが心配」とした者は「フルタイム×パートタイム」の家族類型で高い率となっています。



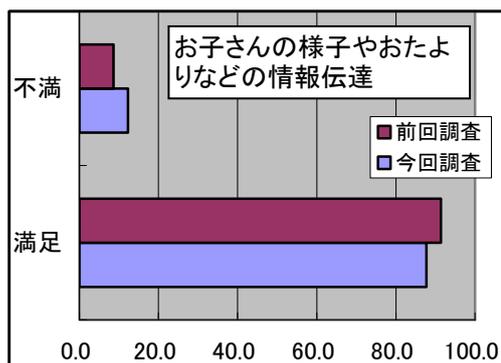
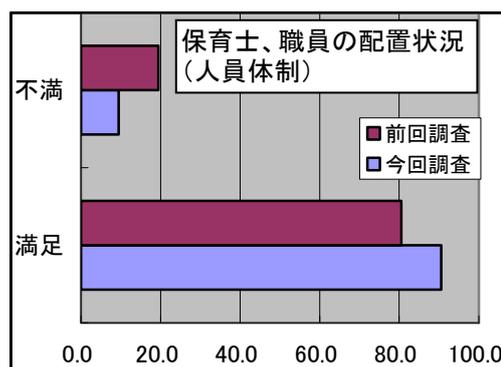
#### 5 保育施設の満足度

「通っている保育施設に対してどのように感じているか」、満足度の設問では、保育所の施設・遊具の環境では、老朽度から地区により満足度に偏りがありました。

満足度が最も増加したものは「保育士、職員の配置状況（人員体制）」で 10.0%増となりました。次いで、「保育参観日や運動会などの行事の日程や内容」が 5.2%、「利用者間のネットワークづくり（父母の会等）」が 4.3%増加しました。

満足度が減少したものでは「お子さんの様子やおたよりなどの情報伝達」が 3.6%減少となりました。次いで、「施設の建物や園庭、遊具などの環境」が 3.1%、「病気やケガの時の対応」が 2.0%減少しました。

その他、わずかな増減ですが「子どもへの接し方・日常の遊び（保育内容等）」「給食及び食へのアドバイス」「悩みごとなどへの相談対応」が増加し、「安全対策（施設・備品・遊具などの安全確保）」「衛生対策」「施設への要望・意見に対する対応」が減少しました。



## 6 子どもの病気等の対応

子どもが病気等で保育園を休まなければならなかったことがある家庭の対処方法では、「母親が仕事を休んだ」が 67.5%で最も多く、前回調査より 9.3%増加しています。

「父親が仕事を休んだ」は 16.2%で前回調査より 1.9%増加し、父母が対処した割合が増加しました。

また、父母が仕事を休むことの困難度では、「非常に困難だった」とした母親は 8.9%（前回調査 15.4%）父親は 2.9%（前回調査 13.0%）となっており、「特に困難というほどでもなかった」とする割合が大幅に増加しました。

病気回復期の望む行政サービスでは、「医療機関で預かるサービス」が 33.0%と前回調査の 5.5%から大幅に増加し、「自宅に来てくれるサービス」が 28.7%から 3.6%に、「保育園で預かってくれるサービス」が 48.8%から 31.4%に減少しました。

「特にサービスを希望しない」は 16.1%から 31.4%に増加し、サービスのニーズは大きく変化しました。

## 7 子育ての不安・悩み

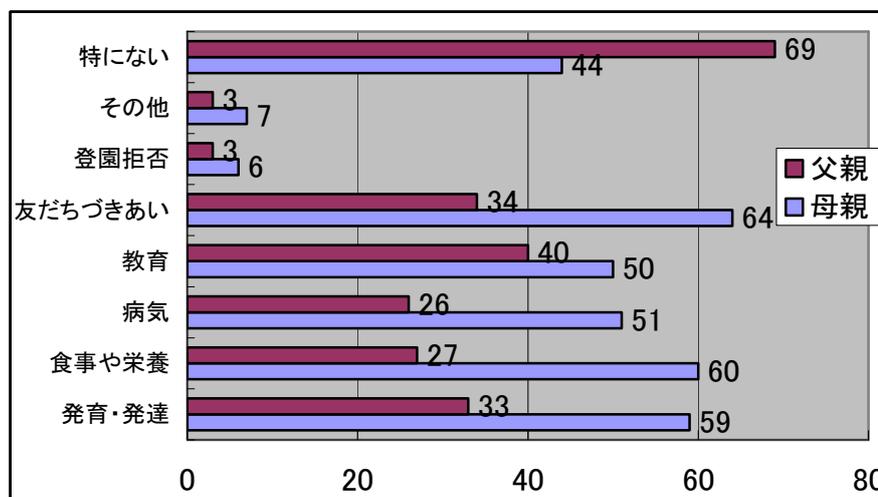
「子育てで不安感や負担を感じること」の設問では、母親は、「子どもを叱りすぎているような気がする」が、父親は「子どもとの時間が十分にとれない」が最も多くなっています。

母親で「子育てに関しての家族の協力が少ない」が 2.7%減少、「自分の自由な時間が持てな

い」が1.7%増加、父親で「特に不安・悩みはない」が3.7%増加したほかは、前回調査とほぼ同じ割合となっています。

気になることについても、「子どもの発育・発達に関すること」が増加したほかは前回調査の割合を下回っており、「特にない」が増加しています。

不安・悩み・気になることとも父母の特徴はあるものの傾向は前



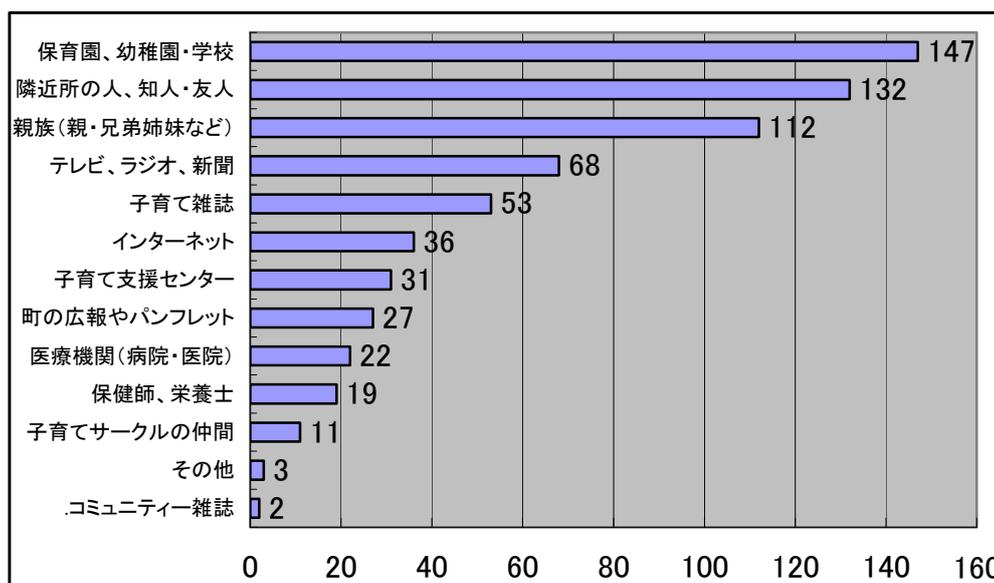
回調査と同様であり、目だった変化はありませんでした。

悩みの相談先も「配偶者・パートナー」「親族」「保護者の仲間」「保育士」の順で、前回調査と変わりありませんが、「隣近所・地域の友人・知人」が比率を下げ、「子育て支援センター」が新たに加わりました。

## 8 子育ての情報入手

子育ての情報入手先は、悩みの相談先とは異なり保育園や隣近所が上位にきています。

「隣近所の人、知人・友人」が比率を下げる一方で、「インターネット」「子育て雑誌」が増加しています。また、「子育て支援センター」が新たに加わりました。



前回調査では「情報の入手先がない」「情報の入手手段がわからない」が数パーセントありましたが、今回調査ではありませんでした。

## 9 行政の相談窓口

出産・育児に関する行政窓口や公的施設の対応について伺った設問では、「不満に思ったことがある」とした者は、前回調査から4.4%増加し、28.2%になりました。

あるとした者の内容では、「対応が不親切」が34.4%で最も多く、「手続きが面倒で時間がかかる」が8.8%増加し33.3%、「情報がすぐに得られない」12.9%は前回調査とほぼ同率です。

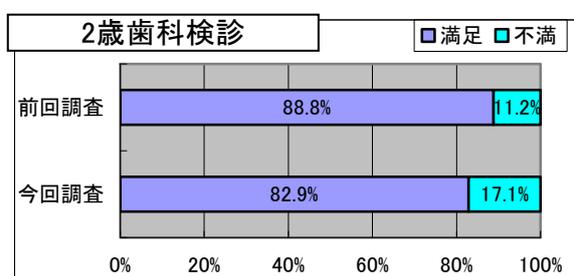
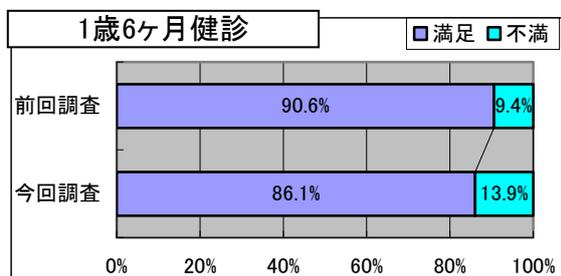
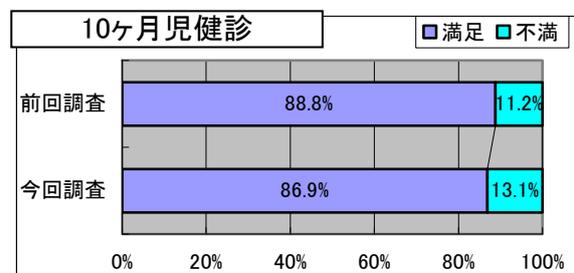
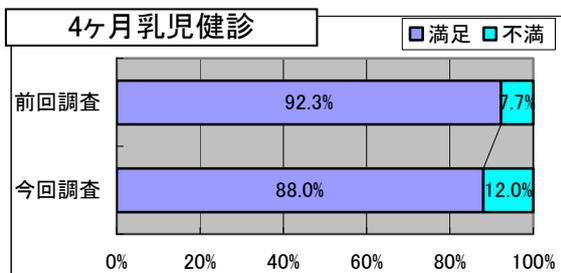
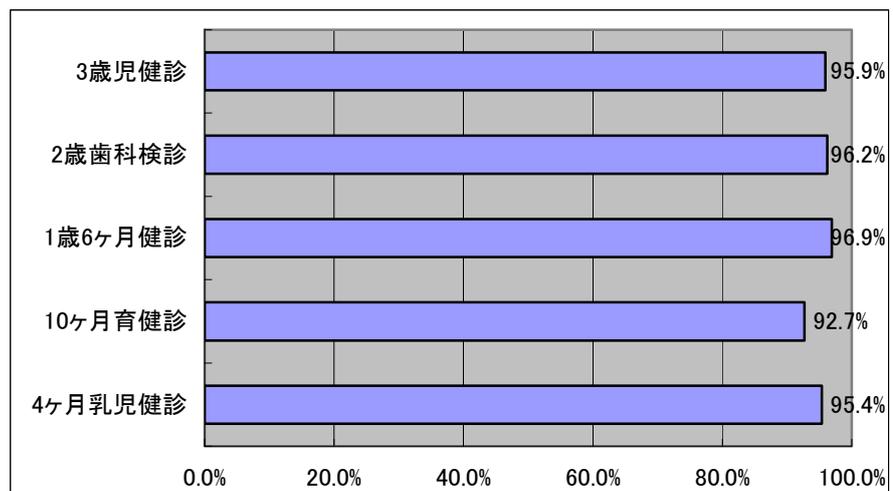
「相談場所に入りにくい」は7.8%減少しました。

## 10 乳幼児健診、子どもの医療

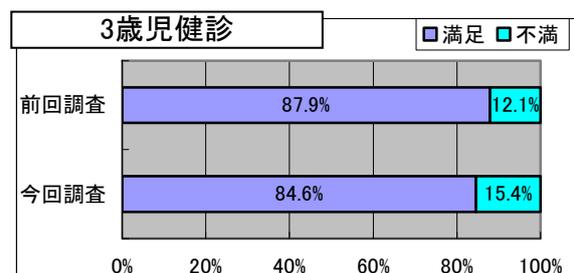
町が実施している健診の受診率は、10ヶ月児健診がやや低くなっていますが、その他は95%を超えており、前年度調査とほぼ同率となっています。

健診の満足度ではいずれの健診も不満が増加しました。

「待ち時間が長い」  
「昼寝と重なりぐずるので午前中にしてほし



い」など健診の方法への不満のほか、「もっとしっかり見て欲しい」「医師の態度が悪い」「手際が悪い」などスタッフへの不満が記述されていました。



医療の情報入手先は、「隣近所の人、知人・友人」が最も多く次いで「親族」、「医療機関」と「保育園」が同数で続いています。

子育て情報同様、インターネットからの情報入手が増加し、子育て支援センターが新たに加わりました。

## 11 サービスの認知度、利用度

各種サービスの認知度等を伺った設問では、「保育園の園庭の開放」は大きく認知度・利用度を増加させましたが、「保育園・子育て支援センターの育児相談」「保健師による育児相談」は認知度の増加が利用には結びついていない結果となりました。

「つながっぺ広場・すくすく広場」は認知度も高く、利用も増加しています。

サービスの認知度等		(平成21年6月調査)		(平成16年2月調査)		増減
(母親による学級 医療機関に 関する)	1. 知っている	126 世帯	64.9 %	179 世帯	69.1 %	-4.2 %
	2. 知らない	68 世帯	35.1 %	80 世帯	30.9 %	4.2 %
	1. これまで利用したことがある	107 世帯	59.8 %	158 世帯	64.5 %	-4.7 %
	2. これまで利用したことがない	72 世帯	40.2 %	87 世帯	35.5 %	4.7 %
	1. 今後利用したい	56 世帯	40.6 %	95 世帯	49.2 %	-8.6 %
	2. 今後利用しない	82 世帯	59.4 %	98 世帯	50.8 %	8.6 %
保育園の 園庭の 開放等	1. 知っている	158 世帯	82.7 %	151 世帯	58.5 %	24.2 %
	2. 知らない	33 世帯	17.3 %	107 世帯	41.5 %	-24.2 %
	1. これまで利用したことがある	113 世帯	61.1 %	120 世帯	49.4 %	11.7 %
	2. これまで利用したことがない	72 世帯	38.9 %	123 世帯	50.6 %	-11.7 %
	1. 今後利用したい	117 世帯	80.7 %	167 世帯	80.3 %	0.4 %
	2. 今後利用しない	28 世帯	19.3 %	41 世帯	19.7 %	-0.4 %
すくすく つながっ ぺ広場	1. 知っている	193 世帯	96.5 %	254 世帯	96.9 %	-0.4 %
	2. 知らない	7 世帯	3.5 %	8 世帯	3.1 %	0.4 %
	1. これまで利用したことがある	144 世帯	73.1 %	173 世帯	67.1 %	6.0 %
	2. これまで利用したことがない	53 世帯	26.9 %	85 世帯	32.9 %	-6.0 %
	1. 今後利用したい	68 世帯	48.6 %	90 世帯	43.7 %	4.9 %
	2. 今後利用しない	72 世帯	51.4 %	116 世帯	56.3 %	-4.9 %
保健師による 育児相談	1. 知っている	160 世帯	80.8 %	186 世帯	71.8 %	9.0 %
	2. 知らない	38 世帯	19.2 %	73 世帯	28.2 %	-9.0 %
	1. これまで利用したことがある	62 世帯	33.7 %	84 世帯	34.0 %	-0.3 %
	2. これまで利用したことがない	122 世帯	66.3 %	163 世帯	66.0 %	0.3 %
	1. 今後利用したい	75 世帯	51.7 %	111 世帯	53.4 %	-1.6 %
	2. 今後利用しない	70 世帯	48.3 %	97 世帯	46.6 %	1.6 %
保育園・子育て 支援センター での 育児相談	1. 知っている	171 世帯	86.4 %	137 世帯	53.5 %	32.8 %
	2. 知らない	27 世帯	13.6 %	119 世帯	46.5 %	-32.8 %
	1. これまで利用したことがある	58 世帯	31.4 %	79 世帯	32.5 %	-1.2 %
	2. これまで利用したことがない	127 世帯	68.6 %	164 世帯	67.5 %	1.2 %
	1. 今後利用したい	83 世帯	56.5 %	146 世帯	70.2 %	-13.7 %
	2. 今後利用しない	64 世帯	43.5 %	62 世帯	29.8 %	13.7 %

## 12 小学校入学後のニーズ

「小学校入学後の1年生から3年生の間に、放課後の面倒を家族以外に頼む必要があるか」の設問に34.6%が「必要がある」としています。

必要があるとした者に「放課後どのように過ごさせたいか」伺ったところ、

放課後どのように過ごさせたいか	世帯数	割合
学校で指導員などにみてほしい	31 世帯	37.8 %
保育園や総合センターなどで学童保育を利用したい	25 世帯	30.5 %
スポーツ少年団活動や習い事をさせたい	24 世帯	29.3 %
地域でボランティアなどにみてほしい	1 世帯	1.2 %
その他(この指とまれ)	1 世帯	1.2 %

学校や保育園で見て欲しいといった学童保育への期待が高くなっています。

## 13 子育て支援全般

子育て支援の充実を図って欲しいと思っていることを自由記載で記入していただいたところ

医療について 休日、夜間対応できる小児科がほしいなど「医療体制」の充実	7 世帯
公園について 安心して遊べる場、遊具がほしいなど「公園」の整備	17 世帯
保育園について 土日も保育してほしいなど「休日保育」の実施	12 世帯
保育の時間を延長してほしいなど「延長保育」の拡充	9 世帯
病気の時でも預かって欲しいなど「病児保育」の実施	3 世帯
保育料について 保育料を引き下げ及び無料化してほしいなど「負担軽減」	11 世帯
親の収入によって保育料が異なるのは納得いかないなど「負担の公平性」	2 世帯
学童保育について 各小学校で預かってほしいなど「学童保育」の充実	6 世帯
環境について 交通量が多く、不審者の心配もあるなど「交通安全・防犯」体制の整備	2 世帯

などが複数回答の主なものでした。

前回調査では「医療体制の充実」が最も多く記入され、次いで「保育所を増やして欲しい」が多くありましたが、今回調査では保育所を増やしてほしいといった意見はありませんでした。

## 第3節 アンケート調査の結果(小学1～3年生)

### 1 家庭の状況

小学1～3年生のいる子育て世帯の家族平均人数は未就学児童の5.5人に対し4.8人となっていますが、

家族類型	多世代同居	核家族	家族平均人数	核家族率	近居家族がいる率
ひとり親	11 世帯	6 世帯	3.4 人	35.3%	35.3%
フルタイム×フルタイム	66 世帯	17 世帯	5.0 人	20.5%	56.6%
フルタイム×パートタイム	55 世帯	29 世帯	5.1 人	34.5%	47.6%
フル&パート×専業主婦(夫)	9 世帯	4 世帯	4.5 人	30.8%	61.5%
その他	5 世帯	6 世帯	4.6 人	54.5%	54.5%
合計	146 世帯	62 世帯	4.8 人	29.4%	49.5%

核家族率は29.4%と未就学児童の34.0%より少なくなっています。

## 2 父母の就労状況

就労状況・ 形態を未就学 児童の家庭と 比較すると共	母 親				父 親			
	就労中	産休等	専業主婦	休職中	就労中	産休等	専業主婦	休職中
小学1～3年生	182 人 85.1 %	3 人 1.1 %	13 人 9.3 %	8 人 4.5 %	189 人 98.8 %	0 人 0.0 %	0 人 0.0 %	3 人 1.2 %
未就学児童	162 人 79.8 %	12 人 5.9 %	21 人 10.4 %	8 人 3.9 %	190 人 96.5 %	2 人 1.0 %	0 人 0.0 %	5 人 2.5 %

働き率、母親のフルタイム就労の率が高くなっています。

子育ての手のかかり方か、数年間の景気の影響か正確な分析はできませんが、母親の就

労日数は週6日就労など未就学児童家庭より長くなっています。

父親の出勤時刻・帰宅時刻は未就学児童の家庭と大きな相違はありませんが、

母親の出勤時刻は未就学児童の家庭に比べやや早めの時間帯であり、帰宅時刻はやや遅めの時間帯となっています。

フルタイム就労の率が高い要因に加えて、保育園の送り迎えの時間が影響しているものと考えられます。

残業頻度についても、父親には大きな相違はありませんが、母親では月10日以上残業があったとした者は小学1～3年生家庭では45.5%と、未就学児童家庭の38.2%を上回っています。

就労状況からは、未就学児童に比べれば若干なりとも子育てに余裕ができることを感じ取れます。

就労形態	母 親		父 親	
	フルタイム	パート	フルタイム	パート
小学1～3年生	94 人 51.6 %	88 人 48.3 %	188 人 99.5 %	1 人 0.5 %
未就学児童	76 人 46.9 %	86 人 53.1 %	188 人 98.9 %	2 人 1.1 %

### 出勤時刻(母親)

時 刻	小学1～3年生		未就学児童	
～ 6:59	4 人	2.3 %	3 人	1.9 %
7:00 ～ 7:29	12 人	6.9 %	4 人	2.5 %
7:30 ～ 7:59	44 人	25.4 %	35 人	21.9 %
8:00 ～ 8:29	51 人	29.5 %	49 人	30.6 %
8:30 ～ 8:59	32 人	18.5 %	30 人	18.8 %
9:00 ～ 9:29	16 人	9.2 %	30 人	18.8 %
9:30 ～ 9:59	8 人	4.6 %	4 人	2.5 %
10:00 ～	6 人	3.5 %	5 人	3.1 %
合 計	173 人	100.0 %	160 人	100.0 %

### 帰宅時刻(母親)

時 刻	小学1～3年生		未就学児童	
～ 11:59	0 人	0.0 %	3 人	1.9 %
12:00 ～ 14:59	11 人	6.3 %	11 人	6.9 %
15:00 ～ 15:29	6 人	3.4 %	5 人	3.1 %
15:30 ～ 15:59	4 人	2.3 %	10 人	6.3 %
16:00 ～ 16:29	21 人	12.0 %	18 人	11.3 %
16:30 ～ 16:59	12 人	6.9 %	10 人	6.3 %
17:00 ～ 17:29	24 人	13.7 %	19 人	11.9 %
17:30 ～ 17:59	21 人	12.0 %	20 人	12.5 %
18:00 ～ 18:29	32 人	18.3 %	26 人	16.3 %
18:30 ～ 18:59	15 人	8.6 %	19 人	11.9 %
19:00 ～ 19:29	14 人	8.0 %	10 人	6.3 %
19:30 ～ 19:59	7 人	4.0 %	4 人	2.5 %
20:00 ～ 20:59	2 人	1.1 %	3 人	1.9 %
21:00 ～ 21:59	3 人	1.7 %	0 人	0.0 %
22:00 ～	3 人	1.7 %	2 人	1.3 %
合 計	175 人	100.0 %	160 人	100.0 %

## 3 仕事と子育ての状況

「仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること」の設問では、未就学児童家庭同様、父母とも「子どもと接する時間がない」が最も多くなっています。

未就学児童家庭との相違は「子どもの面倒を見てくれる所が見つからない」が多くなってい

る点です。

家族類型別には、「ひとり親」家庭で率が高くなっており、次いで「フルタイム×パートタイム」「フルタイム×フルタイム」の順になっています。

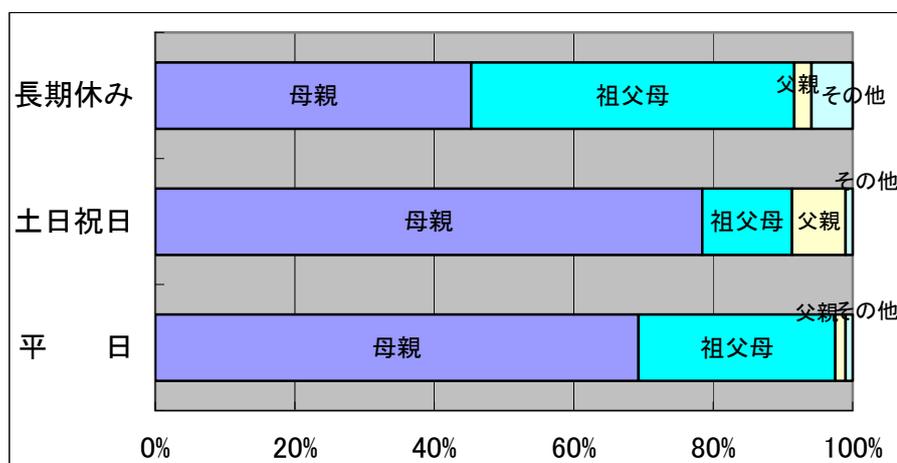
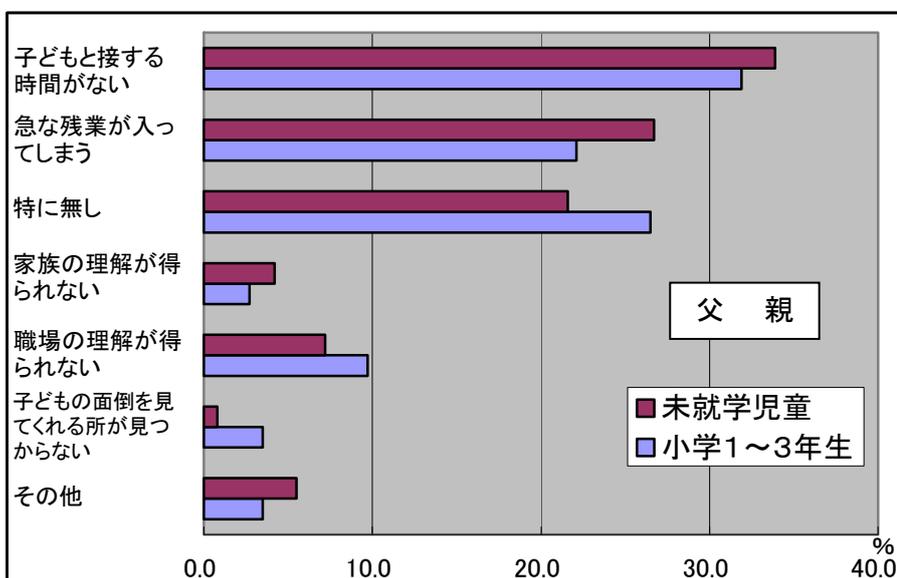
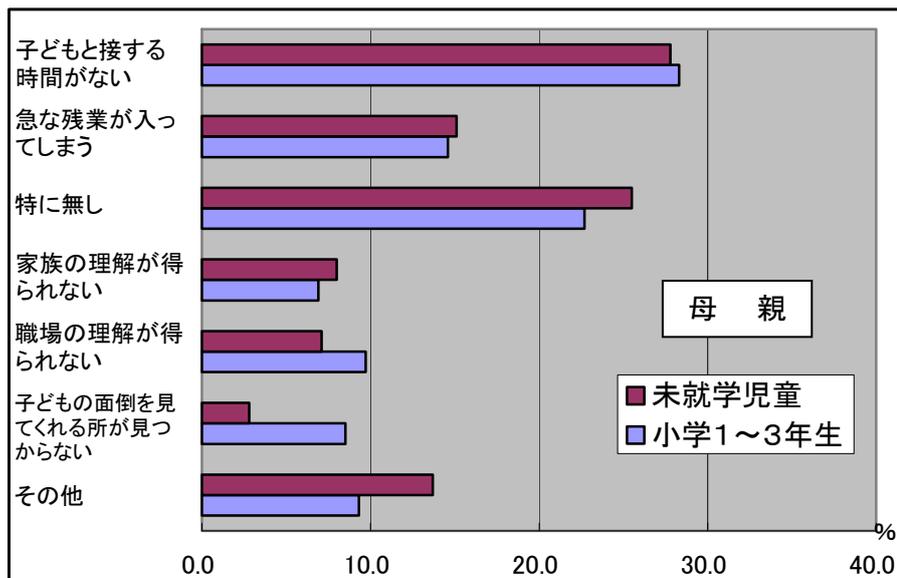
未就学児童家庭同様に「フル&パート×専業主婦（夫）」では面倒を見てくれる所が見つからないとした家庭はありませんでした。

#### 4 子どもの世話の状況

家庭内で身の回りの世話を主にしている方を伺ったところ、平日、土日祝日には母親が圧倒的に多くなっていますが、夏休みなど長期の休みは祖父母が母親を上回る率となっています。

日頃お子さんを預かってもらえる人は

いるかの設問には、「日常的に祖父母に預かってもらえる」が53.0%、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等親族に預かってもらえる」が32.1%、「日常的に預けられる友人・知人がいる」が2.4%、「緊急時もしくは用事の際には預けられる友人・知人がいる」が9.6%となっており、



「預かってもらえる人がいない」は2.8%でした。

## 5 放課後・休日の過ごし方

平日の放課後の過ごし方を日数累計で集計すると、全体では「近所の子どもと遊んでいる」が最も多く、平日の42.1%でした。

次いで、「家で過ごしている」が35.5%となっています。

家族類型別に特徴を見ると、ひとり親家庭では、家で過ごしている日数は少なく、「学童保育に預けている」が高い率になっています。

専業主婦（夫）家庭では、学童保育に預けている家庭は無く、スポーツ少年団や習い事で過ごす割合が高くなっています。

その他で分類した中には、「一緒に畑に連れて行く」「買い物に連れて行く」など親や近くの親戚と過ごしている内容となっていました。

その中で分類した中には、「一緒に畑に連れて行く」「買い物に連れて行く」など親や近くの親戚と過ごしている内容となっていました。

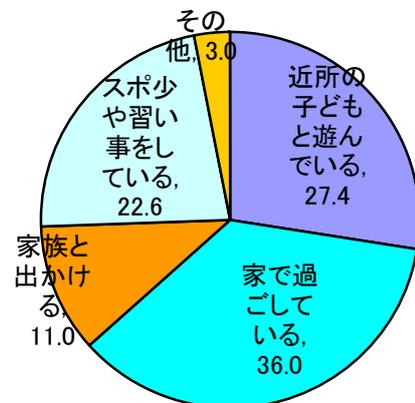
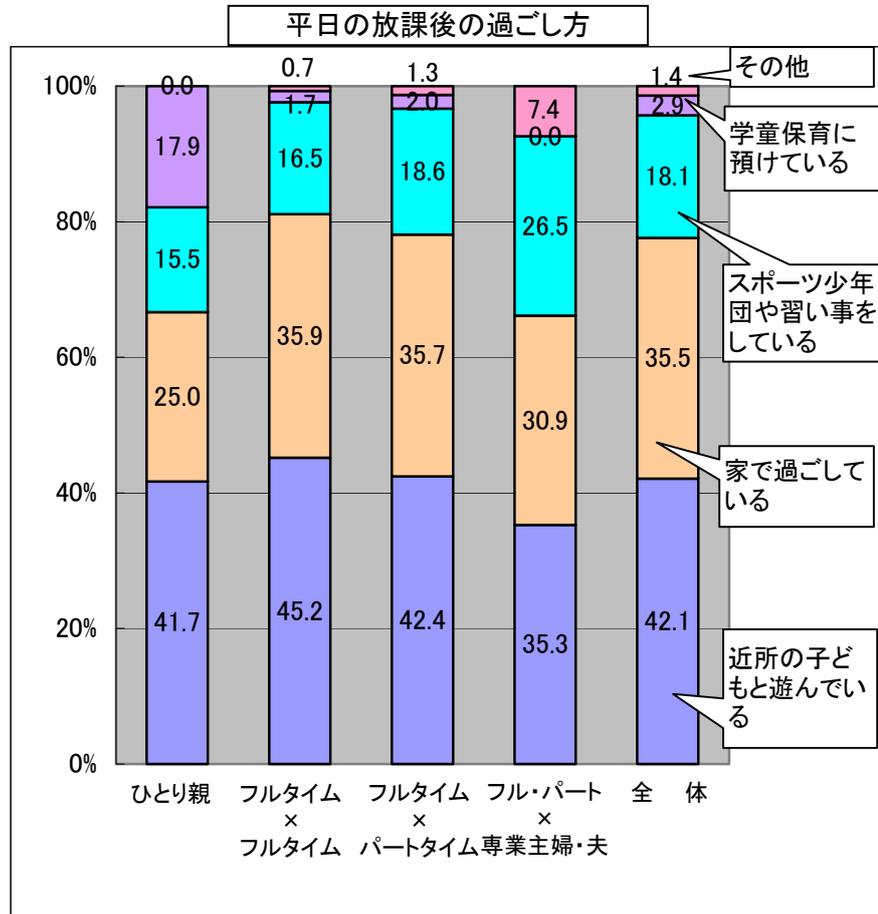
土曜日・日曜日・祝祭日の過ごし方は、一月の日数累計で集計すると、「家で過ごしている」が最も多く、36.0%となっており、「近所の子どもと遊んでいる」は平日の42.1%に比べ割合が低く27.4%となっています。

家族類型別では、「近所の子どもと遊んでいる」は専業主婦（夫）世帯で低く、13.3%となっています。

「家で過ごしている」はひとり親家庭で低く25.6%となっています。

「スポーツ少年団や習い事で過ごしている」ひとり親家庭が高く28.8%となっています。

また、「家族と出かける」は、専業主婦（夫）家庭が18.0%、ひとり親家庭が14.7%と高くなっています。



## 6 放課後等のニーズ

平日の放課後や土曜日・日曜日・祝祭日・夏休み等長期休みにおいて、学童保育など児童の健全育成を図る事業の利用希望を伺ったところ、夏休み等のニーズが多く、日曜日が少なくなっています。

夏休み等長期休みに「週4回以上利用したい」とした家庭では、「フルタイム&パートタイム×専業主婦(夫)」が18.2%で最も多く、「フルタイム×フルタイム」が8.2%で最も少なくなっており、子どもの世話の状況や放課後・休日の過ごし方から推測した結果とは逆となっています。

平日の放課後は「ひとり親」家庭のニーズが高く、

50.0%が利用を希望しており、「フルタイム×パートタイム」家庭が最も低くなっています。

土日は家族類型による大きな相違はありませんでした。

利用希望がある場合、利用したい施設はどこかを伺ったところ、小学校の空き教室が57.3%で最も多くなっており、現在学童保育を実施している総合センター、保育園を合わせた36.6%を大きく上回っています。

総合センターを選択した83.3%は下船渡地区と中深見地区の家庭であり、地域によっても差がありました。また、その他では「地域の公民館」「クアハウス」「体育館」といった記入がありましたが、大半は施設を特定してありませんでした。

学童保育等を希望する理由では、「就労しているため」が51.0%で保育に欠けることが理由ですが、「新しい友達との交流ができるから」が32.7%など、保育に欠けるという理由以外が半数を占めています。現状の学童保育へは「利用時間の延長をしてほしい」「高学年もみてほしい」「送迎をなんとかしてほしい」といった要望の記入がありました。

